

令和4年度 大田区特別職報酬等審議会

会議記録

第1回

開会日時： 令和4年11月9日（水） 午後4時15分
場 所： 大田区役所 5階 会議室
出席委員： 9名 ※定足数6名 （敬称略 50音順）
北見 公秀 大田区商店街連合会 会長
小山 恭史 日本公認会計士協会 東京会大田会 会長
齊藤 政二 公益社団法人 大森法人会 会長
利根川 文子 大田区婦人団体連合会 会長
中島 寿美 社会福祉法人 大田区社会福祉協議会 会長
広瀬 安宏 一般社団法人 大田工業連合会 会長
松原 茂登樹 大田区自治会連合会 会長
森谷 憲光 連合大田地区協議会 議長
吉田 久司 大田区民生委員児童委員協議会 会長

議事進行：

1 会長選出

委員の互選により、松原委員を会長として選出した。

2 諮問

区長より会長へ諮問書を手交した。

（区長は諮問のため入室し、諮問後退室）

3 審議

審議にあたり事務局から、令和4年特別区人事委員会勧告の概要（月例給は初任給及び若年層の給料月額を引き上げ、特別給は0.1月引き上げ）、これまでの経過、他自治体との比較情報について説明があった。

特別区人事委員会勧告の一般職の改定に準じた改定案（給料・報酬月額は改定なし、期末手当は、区長、副区長、教育長及び区議会議員について0.08月の引き上げ）について、質疑と意見交換を行った。

<主な意見>

- 区長、副区長、教育長はよく働いているので、報酬等の額については、ある程度手厚くしていただきたい。

- 大田区は23区の中でも規模が大きいですが、報酬等の額を検討するにあたっては、収支のバランスが取れているのか等、税金や財源といった区の財政状況を考慮したうえで議論を進めるべきである。
- 特別職等の報酬等について議論しているが、一般的に働く人の意欲を上げ、働きやすい状況を作るうえで、給料アップはとても重要なことであり、今回の答申が一般社会にも波及することはあり得るので、特別職等の報酬等を引き上げることには賛成である。
- 本審議会において、もう少し勉強する時間を与えていただいてから議論をした方がよいと思う。また、区長、副区長は、その職責により、よく働いているので、収支のバランスを見て、区で出せる範囲内で報酬等を出した方がよい。
- 経営的な部分も含めて、大田区の財政状況を盤石にし、報酬等の額を審議することが一番肝心なことである。

事務局：総務部長、総務課長、総務課職員